

MAX[®]

MAX REPORT

株主のみなさまへ
82期 報告書

自 平成24年 4月1日 ▶ 至 平成25年 3月31日



マックス釘打機
スーパーネイラ
HN-65N2(D)

証券コード:6454

経営基本姿勢

顧客の支持を高め、いきいきと楽しく力を合わせ
皆揃って成長していく集団を目指す

1. 顧客を知る、現場を知る経営に徹する

自分達の顧客は誰か。そしてその顧客を知るために、また自らを知るために、「現場」「現物」「現実」の三現主義を徹底して実践し、その問題の原因、課題を解決することで顧客価値を高め、企業価値を高めます。

2. ガラス張りの経営に徹する

連結決算を重視し、一般公正妥当な会計基準に基づき、企業の方針、業績、実態を適時・適切に社内外に公開してまいります。

3. 全員参画の経営に徹する

社員は仕事を通して積極的に経営に参加し、それぞれの役割の中で事業成果を拡大してまいります。

4. 成果配分の経営に徹する

結実された成果は、「株主」「社員」「社会」に公正に配分してまいります。

経営方針

顧客との結びつきをさらに深め、顧客を知り、顧客の支持を高める

もくじ

経営基本姿勢・経営方針	1	セグメント別の概要	5・6
株主のみなさまへ	2	中期経営計画について	7・8
連結財務諸表	3	会社情報/株式の状況	9
財務ハイライト	4	利益配分に関する基本方針/配当/株主メモ	10

※本資料の将来に係わる記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。
実際の事業は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日ごろから格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、「現場」「現物」「現実」の三現主義を全社・全組織において実践して顧客の問題、課題を解決することで、顧客価値を高め、企業価値を高めてまいります。

ご報告

当期の概要について

当期（平成25年3月期）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興とともに、緩やかな内需の拡大が見受けられました。また政権交代後の金融緩和策や景気回復に向けた政策から円安、株高基調に進むなどの明るい兆しが見られたものの、債務危機問題による欧州経済の停滞、アジア新興国における成長の鈍化、近隣諸国との不安定な状況など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下で当社グループは、当期の経営方針を『顧客との結びつきをさらに深め、顧客を知り、顧客の支持を高める』と定め、CRM（カスタマー・リレーションシップ・マネジメント）を強力に推進し、「現場」「現物」「現実」の三現主義を全社・全組織において実践して顧客の問題、課題を解決することで、顧客価値を高め、企業価値を高めてまいりました。

この結果、売上高は575億7千万円（前期比0.7%の減収）、営業利益は40億2千6百万円（同4.3%の減益）となりました。経常利益は、外貨建て売掛金の為替差益を背景に、46億6千1百万円（同4.4%の増益）、当期純利益は24億9千万円（同6.8%の増益）となりました。

今期の見通し

今期（平成26年3月期）の業績見通しにつきましては、国内建築市場の緩やかな回復や海外事業の拡大への取組み、OEM先の業績回復に伴うオートステープラの需要増などにより、増収増益の見通しです。

売上高は600億円（前期比+4.2%）、営業利益は48億円（同+19.2%）、経常利益は50億円（同+7.3%）、当期純利益は31億円（同+24.5%）を計画しています。

今後とも株主のみなさまには、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成25年6月



川村八郎

代表取締役社長 CEO

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前期 (平成24.3.31現在)	当期 (平成25.3.31現在)
資産の部			
流動資産		44,559	43,783
固定資産		37,281	40,056
有形固定資産		17,657	18,514
無形固定資産		193	221
投資その他の資産		19,430	21,319
資産合計		81,840	83,839
負債の部			
流動負債		12,318	12,649
固定負債		6,799	7,405
負債合計		19,117	20,055
純資産の部			
株主資本		65,290	65,486
その他の包括利益累計額		△ 3,795	△ 2,006
少数株主持分		1,228	304
純資産合計		62,722	63,784
負債・純資産合計		81,840	83,839

1

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前期 (皇平成24.3.31)	当期 (皇平成25.3.31)
現金及び現金同等物の期首残高		6,905	14,387
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,380	4,779
投資活動によるキャッシュ・フロー		4,427	△ 1,207
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,447	△ 2,200
現金及び現金同等物に係る換算差額		14	315
現金及び現金同等物の増減額		7,374	1,686
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額		106	—
現金及び現金同等物の期末残高		14,387	16,073

4

5

損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前期 (皇平成23.4.1) (皇平成24.3.31)	当期 (皇平成24.4.1) (皇平成25.3.31)
売上高		57,988	57,570
売上原価		35,719	35,440
売上総利益		22,268	22,130
販売費及び一般管理費		18,059	18,104
営業利益		4,209	4,026
営業外収益		637	790
営業外費用		381	155
経常利益		4,465	4,661
特別利益		235	208
特別損失		266	698
税金等調整前当期純利益		4,435	4,171
当期純利益		2,332	2,490

2

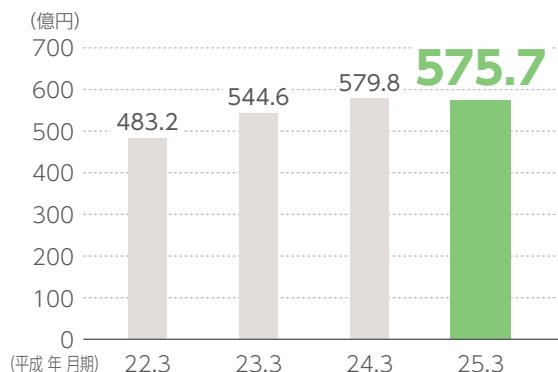
3

Point

- 1 有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が増加したことなどにより、純資産は増加しました。
- 2 前期においては、海外子会社の決算同期化に伴い6億9千9百万円の売上高を計上しており、この影響を控除した売上高前年同期比は0.5%の増収となります。
- 3 外貨建て売掛金の為替差益の影響もあり増加しています。
- 4 前期に比べ、減価償却費が減少したことなどにより減少しています。
- 5 主な内訳は、子会社株式の取得による支出、有価証券及び投資有価証券の取得による支出、有形固定資産の取得による支出です。

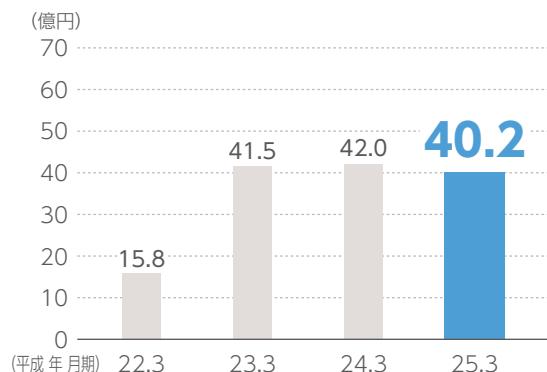
連結損益計算書の概要

■ 売上高



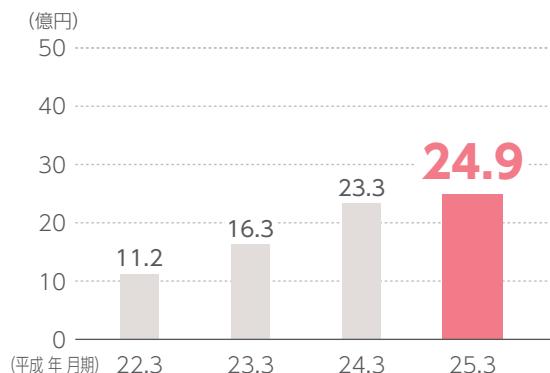
売上高は微減ですが、海外子会社の決算同期化に伴う前期の売上高の計上を控除すると同水準です。

■ 営業利益



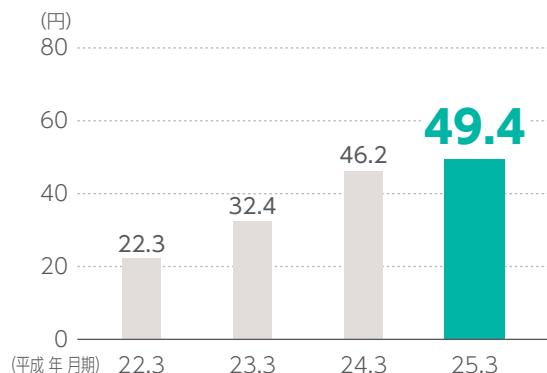
営業利益は、年間を通しての為替相場の影響や販売管理費の増加により、減益となりました。

■ 当期純利益



下期の円高の是正や株価の回復、実効税率の軽減の影響により、当期純利益は増益となりました。

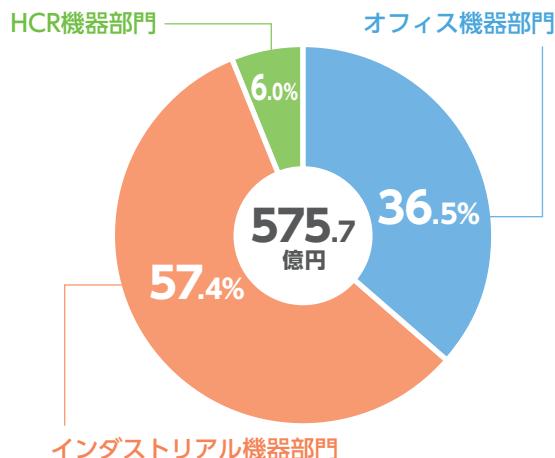
■ 1株当たり当期純利益



当期純利益の増益により、1株当たりの当期純利益は前期の46.2円から49.4円に増加しています。

セグメント別の概要

● 平成25年3月期売上高構成比



オフィス機器部門

オフィス事業は、主力のホッチキスやステーションリー（文房具）、事務機器などで、オフィスワークをサポートしています。

オートステープラ事業は、複合機やネットワークプリンターに装着されるホッチキスで、世界中のコピーマシンメーカーの信頼に応えています。

インダストリアル機器部門

機工品事業は、「打つ」「締める」「結ぶ」といった、それぞれ専門分野での用途に適したファスニング機器を提供しています。

住環境機器事業は、「健康空気が流れる」、「清潔で安心して住める」など、住まいの快適環境づくりを提案しています。

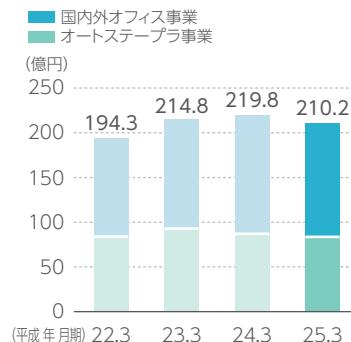
HCR機器部門

「乗りたくても、乗れなかった」。そんな方でも安心して乗れる自転車や、各種車いすの提供を通じて、シニアの生活をサポートしています。

■ オフィス機器部門



通期売上高推移



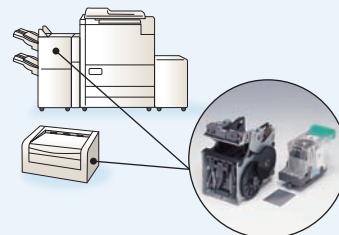
国内外オフィス事業

南アジア市場での売上は好調でしたが、国内で前年に発売した文具新製品の販売増効果が一段落したことなどから、減収となりました。

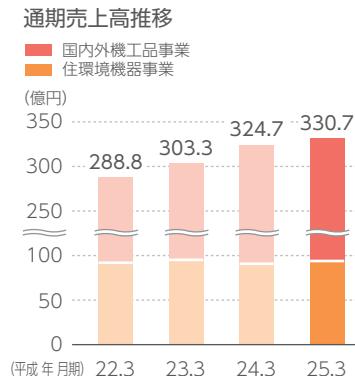


オートステープラ事業

欧州を中心とした世界経済の停滞に伴うOEM先の複写機生産の減少により、減収となりました。



■ インダストリアル機器部門



国内外機工品事業

欧州では建設市況の停滞や為替の影響により減収でしたが、国内では木造建築用工具やコンクリート構造物向け工具の販売が好調に推移し、増収となりました。

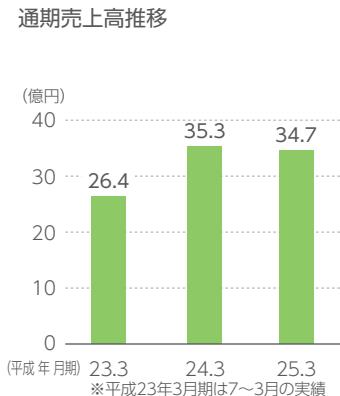


住環境機器事業

主力の浴室暖房換気乾燥機の販売が好調に推移したほか、普及が進むディスプレイシステムが売上高に寄与し、事業全体で前年同期水準の売上高を確保しました。



■ HCR機器部門



当期末に完全子会社となった(株)カワムラサイクルでは、車いすを中心とした介護機器の開発・製造・販売を行っております。当期は、車いすの新規OEM製品の受注が本格化しましたが、復興に伴う療養施設での車いす需要が一段落したことにより、減収となりました。



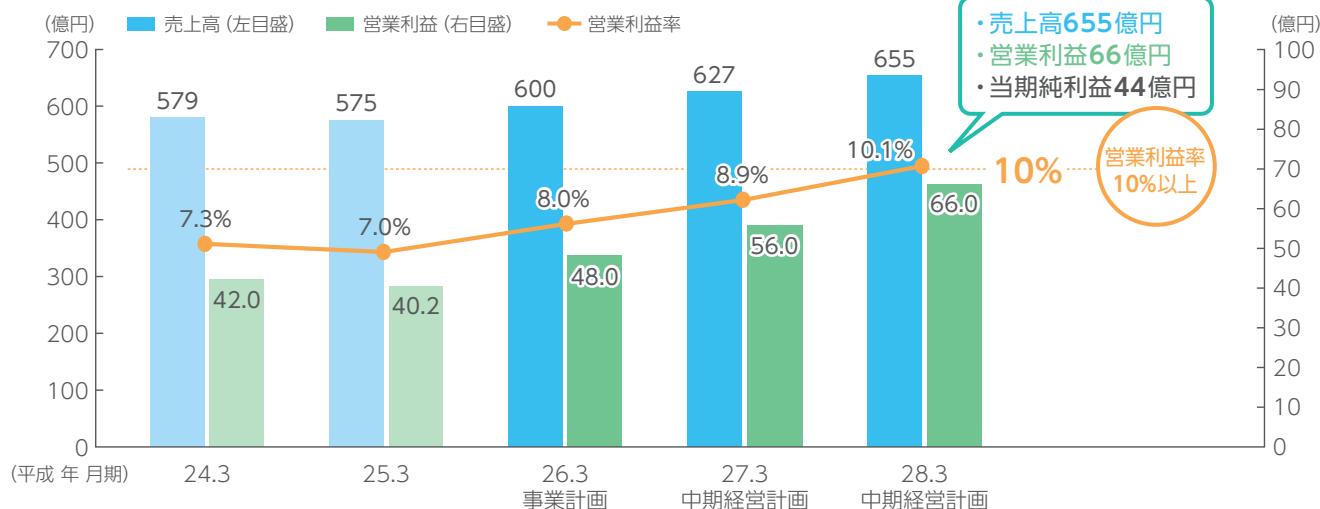
中期経営計画について

中期経営計画の目標

当社は、平成26年3月期から平成28年3月期までの3カ年度の中期経営計画を策定しました。

今中期経営計画におきましては、オフィス機器部門の事業成長路線への転換と、インダストリアル機器部門の事業の安定化を目指します。事業では、海外事業を成長の中核として積極的に展開していきます。

■ 売上高・営業利益推移



中期経営計画指標

	前期 (平成24年3月期)		当期 (平成25年3月期)		次期 (平成26年3月期)		中期 (平成27年3月期)		中期 (平成28年3月期)		平成28年/ 平成25年 年平均伸長率 (%)
	実績	増減率 (%)	実績	増減率 (%)	計画	増減率 (%)	計画	増減率 (%)	計画	増減率 (%)	
売上高 (億円)	579	6.5	575	△ 0.7	600	4.2	627	4.5	655	4.5	4.4
営業利益 (億円)	42	1.3	40	△ 4.3	48	19.2	56	16.7	66	17.9	17.9
売上高営業利益率 (%)	7.3	-	7.0	-	8.0	-	8.9	-	10.1	-	-
経常利益 (億円)	44	7.2	46	4.4	50	7.3	58	16.0	68	17.2	13.4
当期純利益 (億円)	23	42.8	24	6.8	31	24.5	36	16.1	44	22.2	20.9
1株あたり当期純利益 (円)	46.27	-	49.41	-	61.50	-	71.42	-	87.29	-	-
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	3.8	-	4.0	-	4.8	-	5.5	-	6.5	-	-

目標達成のために

オフィス機器部門

新製品を断続的に投入 収益性を確保しながら成長事業へ

- 海外オフィス事業はASEAN諸国を中心としたアジアをターゲットに、国内オフィス事業は「アフタープリンティング」を新たな事業ドメインに設定し、複数商品を展開します。
- オートステープラ事業は、複写機メーカーの動向に則した提案を徹底して実践するとともに、新たに北米での現地マーケティングを強化します。



海外限定モデルの
ホッチキス
Tokyo-Design



手間をかけずに
書類を連続してホッチキス
オフライン型
ステープルフィニッシャー

インダストリアル機器部門

各国におけるエリアマーケティングを強化 経済状況を機敏に捉え、事業の安定化を図る

- 国内インダストリアル事業はトップシェアの釘打機をはじめ、充電工具を既存市場に確実に拡販します。海外インダストリアル事業は、新設住宅着工戸数が増加傾向にある北米をターゲットに木造住宅市場やコンクリート市場を重点的に攻略します。
- 住環境機器事業は、基本設計や部品の共通化を進めた「モジュール設計」の電気式浴室暖房乾燥機を投入し、収益性を高めます。



逆傾斜機能搭載
充電式防じん丸のこ



シェア No.1
電気式浴室暖房乾燥機

HCR 機器部門

完全子会社となったカワムラサイクルとの連携を強化 進展する高齢者社会に対応する商品開発を

- カワムラサイクルは、顧客への提案活動を強化することで、車いすのシェアを現行30%から35%へ高めます。
- 市場性が確認できた高齢者向け自転車クークルSをシリーズ化し、自立生活を促進・支援する製品を開発、更なる市場の拡大を図ります。



歩行補助具

高齢者向け
自転車クークルS

会社概要 (平成25年3月31日時点)

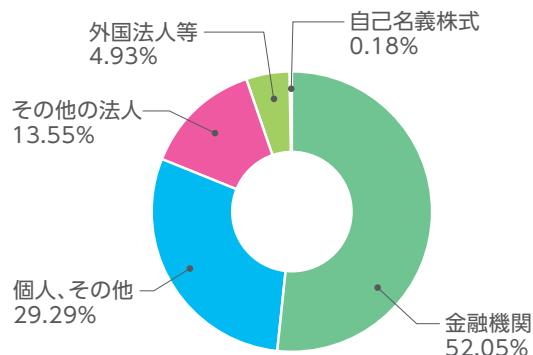
商号：マックス株式会社
 本社：東京都中央区日本橋箱崎町6番6号
 設立：昭和17年11月26日
 資本金：123億6千7百万円
 従業員：2,707名
 グループ会社：連結子会社24社
 (国内13社、海外11社)

取締役・監査役・執行役員 (平成25年6月27日時点)

代表取締役社長CEO	川村 八郎	常勤監査役	亀ヶ谷 正次
常務取締役上席執行役員	塩川 博	常勤監査役	木暮 郷司
常務取締役上席執行役員	樋口 浩一	社外監査役	畠山 正誠
取締役執行役員	村山 恵司郎	社外監査役	望月 眞宏
取締役執行役員	黒沢 光照	上席執行役員	藤岡 龍司
取締役執行役員	岸 信夫	上席執行役員	柳澤 徳仁
取締役執行役員	浅見 泰	執行役員	中野 俊和
取締役執行役員	西川 博文	執行役員	山崎 隆
取締役執行役員	角 芳尋	執行役員	加藤 賢二

※監査役 畠山正誠、望月眞宏の両氏は、「会社法」第2条第16号に定める社外監査役です。

株式分布状況 (所有者別株式数比率) (平成25年3月31日時点)



発行可能株式総数：145,983,000株
 発行済株式の総数：50,500,626株
 株主数：4,646人

大株主 (上位10位まで) (平成25年3月31日時点)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	4,684	9.29
日本生命保険相互会社	4,425	8.78
マックス共栄会第一持株会	3,514	6.97
マックス共栄会第二持株会	2,697	5.35
株式会社みずほ銀行	2,344	4.65
株式会社群馬銀行	2,114	4.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,881	3.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,825	3.62
明治安田生命保険相互会社	1,588	3.15
新日鐵住金株式会社	1,344	2.67

※持株比率については、自己株式95,941株を控除して算出しております。

利益配分に関する基本方針/ 配当/株主メモ

利益配分に関する基本方針 / 配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、事業の成長を図り、事業利益を追求することにより自己資本当期純利益率(ROE)を向上させ、業績に裏づけされた成果の配分を行うことを基本方針としております。

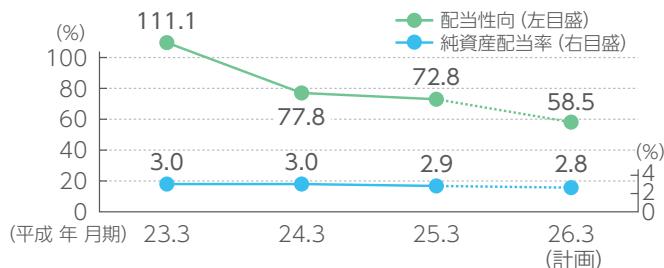
これに基づく配当政策を、連結決算を基準に「配当性向40%を下限とし、純資産配当率2.5%を目指す」と定めています。

当期の配当につきましては、中長期的な業績動向及び財務状況などを総合的に勘案して、前期と同様の「1株当たり年間配当金36円」とさせていただきます。

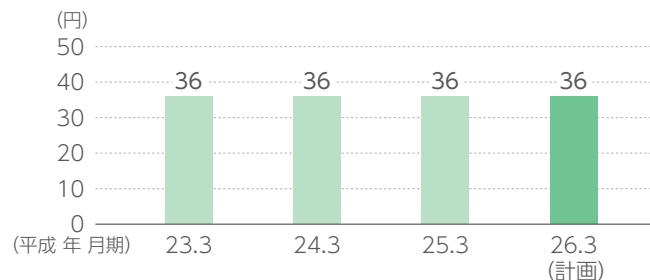
株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031 インターネットホームページURL http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	1,000株
公告の方法	当社ホームページに掲載いたします。 http://www.max-ltd.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京

■ 配当性向/純資産配当率の推移



■ 1株当たり配当金の推移



第3回 マックス

「心のホッチキス・ストーリー」

入賞作品が決定! マックス ホームページにて、「心のホッチキス・ストーリー」と題して、「あなたが今「心のホッチキス」を使って留めておきたいと思うこと」を公募し、厳正な審査の結果、入賞作品を決定しました。

応募作品の傾向

昨年は、国際的なスポーツ大会で団体競技や水泳でのリレー競技の活躍が目立った一方で、中学校で起きたいじめの問題が連日大きく報道された年でもあり、改めて「絆」や「思いやり」についてのどのような作品が集まるのか大変興味を持っておりました。

その中で、過去最多となる4,712件もの応募があり、テーマについても、「家族やペットとの心のつながり」、「ハンディキャップや自身のコンプレックスを克服した瞬間」など多岐に渡っていました。

非常に多くの反響をいただいた今回の企画が、忙しい日々で忘れがちな「心に留めておきたい思いや出来事」を見つめなおすきっかけになれば大変うれしく思います。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。
http://wis.max-ltd.co.jp/event_op/



※他の受賞作品もご紹介しています。



マックス・心のホッチキス大賞

栃木県 男性 20代 仲村 優佐

携帯で呟いた「明日も頑張る」と。家を出てから一年が経ち、会社では新人という肩書が消えた。職場は地方の営業所。一番年の近い先輩は38歳。所内での話題に追いつくことで精一杯。ジェネレーションギャップ?ゆとり教育の弊害?コミュニケーションが辛い。だけれども、もう一年生ではない。会話も、仕事も、求められることは増えるばかりで、期待に応えることができない不安も増すばかりで。朝起きて仕事に行く、夜帰って食事をして、寝る。そんな毎日。頑張るしかないと自分に言い聞かせる。枕元の携帯が振動する。大学の友達からのメール「メールアドレス変えました」。そういえば卒業以来会っていない。他の友達は何をしているのだろう?一年ぶりのアプリを起動する。みんなの近況は悪戦苦闘。文句も弱音も並んでいた。だけれども、みんなで慰めて、励まして。そこに加わってみる。元気が湧いた。寝る前に、最後に一言「明日も頑張る」。



マックス・U-18大賞

奈良県 女性 17歳 F.A

「あなたは両目で物を見る力がありません。」そうお医者さんに言われた夜、誰にもばれないようにふとんに頭をうずめて泣いた。私は生まれつき先天性白内障という病気をもっていて手術は成功したけど左目が外斜視。両目で物を見る力がないため外斜視の手術は無意味だと言われた。

もう17年もこの目つきあっているのもう気にしないようにするのは慣れてる。でもじっと人に目を見つめられたときに目をそらしてしまう。

なんでこんな目で生まれてきたんだろう。

高校2年になってできた友人がいる。ある日一緒に帰ったとき、私の目についてどう思うか、話しの流れにあわせて不自然に思われないようにきいてみた。

「たれ目がかわいい。うちもそんな目がええわ〜!」

なんだ、私ってたれ目なんだ。外斜視、私は悪いところばかりみてたんだ。17年間私をしばらくつけていた何かがぱっとほどけた気がして涙がこぼれた。